



学校教育目標 「自分が好き 友だちが好き 学校が好き このまちが好き」  
～心豊かに学び合い、ともによりよく生きようとする子～

## 思いやりブーケの花をさかせよう！

2月はピンクシャツデー月間

副校長 中村 好宏

12月の人権週間に、児童運営委員会主導で「思いやりブーケの花をさかせよう！」運動が行われ、現在も続いています。だれにとっても居心地のよい学校づくりを目指して、それぞれのクラスで心が温まる言葉や振る舞いがあると自分たちで花のイラストに言葉を書いて、昇降口前のクラスごとの台紙に貼りだしました。



書かれている言葉を少し紹介します。

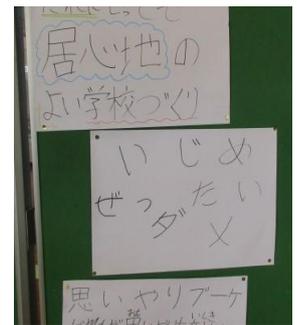
「〇〇をひろってくれた。」  
「〇〇をてつだってくれた。」  
「けんかをとめてあげていた。」  
「ありがとう。」  
「すごいね。」

そして、学年問わず多く見られたのが  
「だいじょうぶ？」

です。多くの子どもたちは、心配してくれる言葉がうれしく思えるようです。



この取組の呼びかけの言葉に「いじめ ぜったい ダメ」があります。2月は「いじめストップ！」を掲げる「ピンクシャツデー月間」です。カナダのある学校で起きた出来事がきっかけで始まった毎年2月の最終水曜日を「ピンクシャツデー」にする取組も、その思いや願いがつながり2月中へと広げられて来ています。教育委員会からもポスターやチラシが学校に届くようになって5年経ちました。いずみ野小でこの話を紹介するのも4年目となりました。



ピンクのシャツを着て登校した男子生徒がからかわれ、家に帰ってしまいました。それを聞きつけた上学年の生徒がその日のうちにピンクのシャツを集め、友だちに渡し翌日大勢でピンクシャツを着て、あるいはピンクの物を身に付けて登校しました。からかった生徒は反省し、家に帰った生徒も元氣を取り戻したとのことでした。

見た目に限らずあらゆることを差別し、からかうようなことは許してはなりません。逆にお互い心が温まるような言葉と行動で学校生活が送れるようにしていきたいです。

思いやりブーケの花をたくさんさかせましょう！

